

小熊研究会 1 政治思想レジュメ

論争的概念としての保守主義

総合政策学部 4 年 佐藤真理

保守主義とは

- ・反動としての保守主義、イデオロギーとしての保守主義
現存秩序の維持を目的とする。
マンハイムの定義；貴族の世界観
- ↑↓
- ブルジョア自由主義を支える進歩主義的歴史観
 - ・一定の価値観と方法を持った政治思想としての保守主義
啓蒙主義の理性批判

背景

フランス革命後のヨーロッパ
政治の舞台における下層大衆、上層ブルジョア、貴族の階層対立
デモクラシーが不可避と見なされつつあった時代

民衆教育の必要性に対する認識

- ・産業革命後の貧困都市労働者など、民主政の恩恵を受けない人々の存在と彼等自身の無自覚
- ・民主政が内包する「自律的で理性的、寛容な市民」への信頼
ヒューム；大衆の自治能力のなさ、非合理的行動を指摘
大衆の情念を扇動する者の専制を招く

① 整備された教育体系による国民の啓蒙（画一的人間の創出？）を目指す

② 民衆に対する精神的指導性の維持に努める

ナショナリズムとフランス革命の理念

- ・個人が、最高共同体としての国家と直接結びつく 行政区画の再編成



- ・一方で、人権理論の普遍性を掲げる
フランス以外では、ジャコバン派の普遍主義に対抗する形で
ナショナリズムが形成された。
支配層の武器としての、自国の伝統的政治制度・文化・道徳
= 保守主義の出発点

どちらにおいても、国家の倫理的価値が強調された。